

The Northernmost Locality of *Slaphylea bumalda* (THUNB.) DC.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055728

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



18.17±1.32 mgであった。

引用文献

- 伊藤秀三. 1977. 長崎県の植生. 147pp. 長崎県, 長崎.
- ・川里弘孝. 1980. 西九州におけるハイビヤクシンの分布と生態. 植物地理・分類研究 28: 63-71.
- ・——. 1988. 西九州におけるタンギク (クマツヅラ科) の分布と生態. *Hikobia* 10: 135-143.
- ・中西弘樹. 1987. 対馬の自然植生. 対馬自然資源調査報告書. pp.21-62. 長崎県, 長崎.
- ・——・堀田浩・川里弘孝. 1981. 西九州の海岸草本群落の研究. 長崎大学教養部紀要自然科学篇. 21(2): 31-58.
- 三木栄二. 1982. ゲンカイミミナグサについて. 植物分類地理 33: 260-263.
- Mizushima, M. 1963. The genus *Cerastium* L. in Japan. *Sci. Rep. Tohoku Univ. Ser. IV (Biol.)* 29: 277-294.

- 中西弘樹. 1989. 長崎県の種子植物. 長崎県の生物 (長崎県生物学会編) pp.25-32.
- ・江島正郎. 1989. 平戸島の生物. 長崎県の生物 (長崎県生物学会編) pp.289-292.
- 落石秀行. 1983. ゲンカイミミナグサの新産地. 福岡県の植物 No.8: 29-30.
- Ohwi, J. 1942. *Symbolae ad Floram Asiae Orientalis* 18. *Acta Phytotax. Geobot.* 11: 249-265.
- 品川鉄摩. 1977. 壱岐高等植物目録. 壱岐の生物 (長崎県生物学会編) pp.115-155.
- 外山三郎. 1957. 長崎県植物誌. 164pp. 長崎県理科協会, 長崎.
- . 1980. 長崎県植物誌. 312pp. 長崎県生物学会, 長崎.
- 我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会編. 1989. 我が国における保護上重要な植物種の現状. 320 pp. 日本自然保護協会, 東京.

(Received September 11, 1991)

○ミツバウツギの分布北限地 (高橋英樹*・植松 茂**) Hideki TAKAHASHI and Shigeru UEMATSU: The Northernmost Locality of *Staphylea bumalda* (THUNB.) DC.

これまで詳しい植物調査が欠落していた道北オホーツク海側に位置する浜頓別町のフロラを調査する過程で, 温帯要素のひとつであるミツバウツギ *Staphylea bumalda* (THUNB.) DC.の自生地を発見した。従来の報告からは, ここが分布北限と考えられるので報告する。

ミツバウツギのこれまでの分布北限は, 網走支庁と北見支庁の中部で (HORIKAWA, 1972; 日本林業技術協会, 1976), 留萌支庁や宗谷支庁からは記録がなかった。今回宗谷支庁の浜頓別町と枝幸町の境界にあたる北見神威岬 (斜内山道) でみつかった。ここはオホーツク海に突出した輝緑凝灰岩からなる岩塊地で, 岬突端から約2キロほど入った地点に439メートルのピーク (斜内山) がある。従来より北方系植物が低標高から見られる所として知られ, 北オホーツク道立自然公園に含められている。

ミツバウツギは中腹南東側斜面の直接海風があたらないような小溪谷やくぼ地の落葉広葉樹林内に自生しており, 樹高は1メートルほどであった。他の樹種はミズナラ・シラカンバ・ハリギリ・エゾイタヤ・オオカメノキなどで, 随伴する草本としてはマイヅルソウ・ゴゼンタチバナ・オオバナノエンレイソウなどがみられた。

木本が分布限界に近づくと, 特殊岩地帯に生育地が局限される例がよく知られているが, このミツバウツギの例でも同様であった。なお, 付近では現在トンネル工事の計画があり, 今後自生地の保全が充分図られるかどうか危惧される。

引用文献

- HORIKAWA, Y. 1972. *Atlas of the Japanese Flora*. Gakken Co., Ltd., Tokyo.
- 日本林業技術協会 (編)・倉田悟 (著). 1976. 原色日本林業樹木図鑑第五巻, 地球出版株式会社, 東京.
- (*〒060 札幌市中央区北3西8 北海道大学農学部附属植物園 Botanic Garden, Faculty of Agriculture, Sapporo 060, Japan: **098-57 北海道浜頓別町緑ヶ丘西 Midorigaokanishi, Hamatonbetsu-cho, Hokkaido 098-57, Japan)